

「としま・まちごと福祉支援プロジェクト」セミナー・イベント（2020年10月開催）ご報告

「としま・まちごと福祉支援プロジェクト」10月の公開講座では「介護が始まったらどうすればいいか」この重要なテーマの講座が2つありました。

10月24日は和氣美枝さんによる「いまさら聞けない 自分と家族の人生を守るための介護保険の基礎知識」。

10月30日は羽吹さゆりさんによる「仕事と介護の両立セミナー」。

2つを連続して聴講した私としては、基礎知識から入り、具体的な介護保険制度で利用できる項目までご紹介いただき、本当に今更ながらの予習・復習になりました。

お二人から学んだ重要なこと「介護は突然始まる。その準備をしておくように」。

それには家族間のコミュニケーション。地域包括センターでその地域の介護支援サービスを調べておく。

そして介護が始まったら「地域包括センター」と「社会福祉協議会」を使うこと。

まずはこれを頭に入れておきましょう。

さて「地域包括センター」と「社会福祉協議会」、この二つの組織が私たちの身近ではないというところが問題だと改めて思いました。下記は実際のお話です。

筆者の友人が親の介護で疲れていて、プロ（ケアマネさん）に相談しても思うようにいかないと悩んでいます。

そこで地域包括センターや和氣さん、羽吹さんをご紹介しようと思ったのですが「もっと前にその情報は知りたかった」と言われてしまいました。つまりもう今の状況ではどうにも変えられないと思っているんですね。もしくは大変すぎてこれ以上は考えたくないというのが本音かもしれません。

和氣さん、羽吹さんの予習と初動がとにかく大事、というのも当てはまります。

今の私たちの活動は、全てを自分たちでどうにかするのではなく、専門性の高いところに繋げる役割をしています。選択肢は1つではないということも知ってもらいたいです。

さらに現実的な問題があります。ズバリお金です。

介護が始まったら、お金がもの凄くかかることは目に見えています。

その時に誰のお金を誰が使うのか決めておかなければいけません。

日頃のコミュニケーションが取れていれば良いのですが、認知症になってしまった時など、管理を誰に任せれば良いのか。

そうした問題で注目をされている「家族信託」について、11月19日

（木）村山澄江さんのセミナーがあります。「安心のセカンドライフのために、知っておきたい家族信託・任意後見の基礎知識」。この連続セミナーのラインナップ素晴らしいですね。



和氣美枝さん



羽吹さゆりさん

facebookご登録をお願いいたします。



100年コミュニティ 検索



一般社団法人
コミュニティネットワーク協会

100年コミュニティ 検索

<https://conet.or.jp>

